

## 第3回保育士ワークショップ 開催報告

（出席者） 保 育 士：14名  
事 務 局：4名（総合戦略室）  
オブザーバー：3名（藤井市長、酒向参事、山田こども課長）  
ファシリテーター：1名（ジャパン総研）

### 1 次第

- |       |   |
|-------|---|
| 18：00 | 開会あいさつ、趣旨説明   |
| 18：10 | グループワーク<br>美濃加茂市の保育現場における「保育環境（ソフト・ハード）」の課題解決に向けて、自分たちでできること、その他お願いしたいこと等について自由に意見交換する。 |
| 19：10 | 各グループの成果発表  |
| 19：20 | 講評（藤井市長より）  |
| 19：30 | 閉会あいさつ、事務連絡   |

### 2 開催結果

#### （1）グループワークの発表

##### 【Aグループ】

##### 課題⑥ 深刻な正職員の保育士不足

「自分たちでできること」は大変そうな先生に声を掛け、また自分が大変な時も助けを求めるなど、互いに声を掛けあう雰囲気づくりを行い、コミュニケーションを取っていくことである。「その他協力をお願いしたいこと」は全体的に現場を見て欲しいということである。ヒアリング時の各園の滞在時間を増やし、私たち保育士とじっくり話をする時間を取って欲しいし、秘書課の人に一日体験にも来てほしい。今、どのように人事が行われているかわからないが、現場を知る人に保育士の人事をお願いしたい。

専門職として通訳者の配置や、療育支援の先生の常駐をお願いしたい。今は「カナリヤの家」から来てもらっているが、園に1人でもそのような先生がいれば、すぐに相談できる。

短時間勤務のパートさんが帰った後に忙しくなることが多いので、特に忙しい児童降園時にパート勤務者が居るようにしてほしい。保育士の待遇の改善では、給料をアップすることや、保育士募集時に仕事の楽しさ、やりがいをPRするとよいという意見が出た。他市では、例えば休みたいときは在



宅の保育士に直接連絡を取り仕事を交替してもらい、というシステムを取る市もあるそうだ。園に1人、フリーの先生がいるよりも美濃加茂市全体で来てもらえるような人がいると、保育士みんなが休みを取りやすくなるのではないかと思う。

### 課題⑦事務作業量・研修・地域活動などの多さ

休憩がとりやすいように保育の内容を組む。例えば午後から縦割りにして園児が一斉に外で遊ぶなど、保育士が少なくなっても見ていけるような環境になれば、ほかの先生が別の作業をすることが可能になる。ただ午後にすべき活動などがあればそれもできないので、保育内容の見直しの意見も出た。

### 課題⑧施設の老朽化、課題⑨設備の不足、使い勝手が悪い

#### <保育所の適正な規模>

以上児クラスで1クラス20人ほどの少人数保育が理想である。

#### <これからの保育所施設に必要な機能>

「これからの保育施設に必要な機能」としては、園庭の広さや遊具の配置の見直しである。すべては難しいと思うが、工夫が必要である。駐車場がないために送迎時に保護者とコミュニケーションが取れない場合があるため、駐車場をしっかりと確保してもらえるとよい。トイレや手洗い場数の充実、使いやすい保育室、ロッカー数の充実、日当たりや風通しのよい室内も必要なので、全園での設計の見直しをしてもらえるとよい。

また、下米田保育園のシロアリ駆除は早急に対応を願いたい。



### 【Bグループ】

#### 課題⑥深刻な正職員の保育士不足



「自分たちでできること」であるが、保育園での人員配置は毎日行っていて本当に大変である。なぜ保育士を募集しても来てくれないのか。美濃加茂市は特に人が来てくれないという話を聞く。他の市に採用方法を聞くことも方法のひとつとして挙げられる。美濃加茂市は給料が安く仕事が大変という情報が出回っているようである。大学にその原因を聞いてみてもいいかもしれない。給料のアップなど、保育士の待遇の見直しにもかかわってくる。

人員増加の問題であるが、パートの先生は加配の園児につくことが多い。その先生方が15時半で帰ってしまうと、加配の園児を誰が見るかが問題になる。パートの先生の勤務時間を見直してほしい。パートの先生が休むことも多いので、パートの先生の代わりの職員が必要なのではないだろうか。また、パートの先生が増えるよりも正規職員の先生が増えるほうがいいのではないかと、という意見が出た。

専門職では、気になる子、障がいのある子も多いので、専門の先生が常時いてくれると助かる。外国人担当の保育士が月数回でもいいのでいてくれるとありがたい、という意見が出た。

## 課題⑦事務作業量・研修・地域活動などの多さ



事務作業の簡素化を考えると、「本当に必要なことは何だろう」という話になった。個別記録票も毎月の作成から年4回に減少させたが、それでもまだ多い。記録票を作成しても、次の先生がそれをじっくり見るわけではない。記録内容を〇×式にし、最後に気になる点を記述するようにしたらどうか、という案が出た。他に日誌や避難訓練簿、防犯訓練簿、事故記録簿など、いろいろと記録するものがあるが、項目にチェックを入

れるだけにするなど、簡素化するための方法があるのではないかと。

研修行事は土日が多いので、自分たちの勉強にはなるが、見直しが必要であるという意見が出た。

また、早く帰ったとしても家で事務仕事をする人が多いので、勤務時間内の事務時間の確保も重要であるという意見も出た。

## 課題⑧施設の老朽化、課題⑨設備の不足、使い勝手が悪い

### <保育所の適正な規模>

「保育所の適正な規模」は1クラス20人くらいが望ましい。ただ、部屋の大きさにあった人数配置が必要である。狭い部屋では20人でも適正ではない場合がある。

### <これからの保育所施設に必要な機能>

「これからの保育施設に必要な機能」では、現場の意見を聞いて欲しいという意見が出た。増築、耐震リフォーム、トイレを増やすなどしてもらっているが、使い勝手が悪い場合がある。遊具の意見も出ているが、園庭が狭いと遊具の設置もできない。駐車場も増やしてほしい。これらのことをすべて含めて、これからは現場の意見を聞いてから施設をつくったり、設備の改善等をしていただきたい。

## 【Cグループ】

## 課題⑥深刻な正職員の保育士不足、課題⑦事務作業量・研修・地域活動などの多さ

「自分たちでできること」は退職者を減らすことを第一に、楽しい職場づくりをするという意見が出た。職場が楽しければやめる人も少なくなるのではないかと。保育士育成の点で、実習生や大学生に保育士の楽しさを伝えていくことで保育士希望者の増加を図る。



保育内容の見直しでは、正職員はとても忙しいので、休憩時間を確保することや、事務作業の代用を検討すること、研修の優先順位をつけること、地域行事への参加方法を検討することなどの意見が出た。保育士不足の問題はあるが、例えば誕生日に3連休にするなどごほうびの休暇をつくってはどうか。給料アップを市長に全員で直訴するという意見も出た。

「その他協力をお願いしたいこと」は秘書課、総合戦略室で正規職員の待遇の見直し、給料、休暇の見直し、嘱託職員を正規職員にする、園に事務職員を配置することなどを検討してもらいたいという意見が出た。大学に声をかけ、保育士の仕事についてプレゼンする時間をつくってもらおう、ということもひとつである。また、地域行事を見直す際、すべてをやめるというのではなく、やはり地域の人や保護者に説明できるように、協力してもらいながら見直していく必要がある。

## 課題⑧施設の老朽化、課題⑨設備の不足、使い勝手が悪い

### <保育所の適正な規模>

保育の適正な規模としては、150～180人の定員の保育園が良いのではないかとということになった。小さい園をたくさんつくるのか、大きい園を少しにするのかという問題はあるが、年長、年中は20人で各2クラス、年少は約15人を2クラス、1、2歳児は各15人、0歳児は10人受け入れで、150人くらいの保育園が適切だという意見が出た。0～5歳までがゆとりを持って預けられるような園舎が良い。認定こども園をつくったり、山之上保育園を「森のようちえん」にして3歳以上のみ預かるという形にしたりするのはどうか、という意見が出た。

### <これからの保育所施設に必要な機能>

「これからの保育施設に必要な機能」では子どもの安全を考え、駐車場の確保、防犯カメラを付けるなどの防犯に関する設備、安全対策の面を考えていけたらよい。また、多機能保育園の方向性として、老人ホームと一緒にするような保育園や、コミュニティセンターに保育園を入れることなども考えられる。例えば北部でコミュニティセンターをつくるなら、そこに北部の保育園をつくるなどである。やはり地域の特徴を活かした保育園の施設にしていくといいという意見が出た。

また、園内の部屋に対する意見では、ランチルーム、障がいのある子がクールダウン出来るような部屋、更衣室、相談室、一時預かりの部屋、解放の部屋、気分が滅入った時に入れるような瞑想の部屋などがあると良い、という意見が出た。未満児がゆとりを持って、安心して過ごせるような環境の部屋も必要である。

保育士は女性が多く、重い給食の食器を2階まで運ぶのも困難だ。車いすの方も利用できるようなエレベーターの設置、バリアフリー化や、トイレの1、2階両方への設置など、働きやすい環境があるとよい。



## (2) 講評（藤井市長）

楽しい職場にすることや、声を掛け合う職場づくりなど、今十分に対策してもらっている中で、さらに「自分たちにできることがまだある」と意見を出していただいたのが大変心強い。

これから、総合戦略の策定を行う。美濃加茂市は総合計画を何十年も前から持っており、その大きい計画に基づき、福祉、子育て、教育、産業振興、観光などをすべて進めている。それ以外に、これから美濃加茂市が人口を減らさずに生き残っていくため、国から計画を策定するよう指示が出ており、お金も出ることとなった。そこで地方創生総合戦略というものをつくる。



地方創生をするなかで、今日出た意見を集約したものとして、「地方創生モデル園」というものをひとつつくってはどうか。例えば下米田保育園のシロアリ対策のような既存の園の補修や、遊具の安全性を見直すことはもちろん行わなければならないが、「地方創生モデル園」をつくっていききたいと思う。本当にやらなければならないものだと思っているので、皆さんの力をこれからもお借りし進めていきたい。

次に課題として大きく話が出ていた給料の話である。おそらく国の方からも通知があったので、平成28年度から少し上がると思う。しかしそうではなく、良い保育士を雇用していくためには他の地域に負けない水準の給料が必要になる。名古屋市や各務原市などとある程度給与水準が一緒で、そこからさらに楽しく、休みがとりやすいという魅力があれば、良い保育士に育ってもらい、来てもらえるだろう。現在の保育士も安心して保育に集中してもらえる。給料アップを約束させてもらう。

そしてお願いしたいことは、現場の声を取り入れた政策をする分、信頼関係づくりのためにも出された現場の意見は正しいのか、他と比べているのか、1人、2人だけの意見ではなく皆さんが本当に考えた現場の声なのか、という事はしっかりと各園、全体会議でもう一度考えて意見を挙げてほしい。声を聞く機会をつくり、現場でも声を聞いていきたい。

イベントについても意見が出ていた。これについては園長、副園長、職員の皆さんで決めてもらえば良い。他市の保育士さんに話を聞くと、今行っているイベントやプロジェクトは何のために行っているかわからないということがあった。名古屋市のある園では、今までやってきたからやるのではなく、運動会や夏のイベントなども、子どもの発育など、子ども自身のことを考えて行っているということで、そのような姿勢は仕事として大事にしていくべきだという意見を聞いた。確かに誕生日会、クリスマス会も大事だが、家庭で行うこともできる。園自体厳しい環境であれば、これらの行事は家庭で行うようにしてもらい、園で行える範囲を限ってもいいのではないかと。たくさんのイベントがあり、夏祭りや敬老会を行えば華やかで人も来る。しかしそれで違う所にしわ寄せが来て、本来の目的に沿ったことができなくなるのなら、見直してもらわなければならないと思う。各園で真剣に話し合っ、どんどん改革し決めてもらったらい。これからもよろしくお願ひしたい。

### (3) グループワークの結果

#### 【Aグループ】

#### ⑥深刻な正職員の保育士不足

#### ⑦事務作業量・研修・地域活動などの多さ

##### ◎自分たちでできること

##### ○コミュニケーション

- ・大変そうな先生に声を掛ける。声を掛け合える雰囲気づくり

##### ○保育内容の見直し

- ・事務作業や休憩が取りやすいような保育内容を組む。例) 午後は縦割りコーナー遊び

##### ◎その他協力をお願いしたいこと

- ・フリーを多めにして、保育活動に合わせて、その日毎に人員配置を考える
- ・市内全園の人員配置について検討する

##### ○現場を見てほしい

- ・ヒアリングの際、各園の滞在時間を増やして、じっくり保育の様子、保育士の仕事を見てほしい
- ・秘書課の人にもっと現場を見てほしい。1日体験
- ・保育士の人事に現場を知っている人にしてほしい

##### ○専門職の配置

- ・通訳の方の配置 (外国籍の子どもがいる園には常時)
- ・療育支援。アドバイザー的な人を各園においてほしい
- ・気になる子について。1年通して相談できるような専門的人材の配置をお願いしたい (園毎に)

##### ○パートさんの勤務

- ・パートさんの勤務時間。職員がいなくなってしまう時間が少なくなるように
- ・パートさんの勤務時間。降園児の忙しい時間帯に居てもらえるようにしてほしい

##### ○待遇改善

- ・保育士の待遇見直し (給料UP → 他市と比較して考えてほしい)
- ・保育士の待遇を良くする。給料を上げる
- ・正職の保育士の採用人数を増やす。PRする
- ・保育士の仕事の楽しいところ、面白いところをアピールする
- ・休みを取りやすくするシステム。他市のシステムを参考に

#### ⑧施設の老朽化

#### ⑨設備の不足、使い勝手が悪い

##### ◎保育所の適正な規模

##### ○少人数保育

- ・1クラス多くて25人位。20人位がベスト
- ・1クラス20人。以上児で

##### ◎これからの保育施設に必要な機能

##### ○園庭遊具

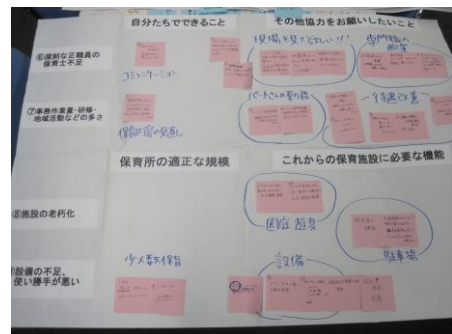
- ・思い切り体を動かすことができる広さの園庭・遊具
- ・子どもを見渡しやすい ・広い場所が確保できるような遊具の配置

##### ○駐車場

- ・駐車場の確保
- ・保護者の人とじっくり関係が築けるように、駐車場を広く (ドライブスルー方式はやめてほしい)

##### ○設備

- ・早急にシロアリ駆除をしてほしい
- ・設計の見直し。全園
- ・使いやすい保育室 (ロッカー、水道の数、トイレの数など) 場所
- ・トイレ、手洗い場の数の充実
- ・日当たり、風通しの良い室内



【Bグループ】

**⑥深刻な正職員の保育士不足**

**⑦事務作業量・研修・地域活動などの多さ**

**◎自分たちでできること**

**○なぜこない？ なぜやめる？**

- ・職員間の人間関係を良くする
- ・募集をしてもなかなか採用希望者がいない。理由を考える

**○やっていますが、大変です**

- ・人員配置。やりくりしている。かなりきつい
- ・保育園内の人員配置は、日々検討して行っている

**○研修・行事の見直し**

- ・参加する研修や地域活動の選択を行い、負担を減らしていく

**○事務の見直し**

- ・事務作業。他の市との比較
- ・個別の簡素化
- ・書類の見直し。本当に必要なことは
- ・他の市町村との比較をし、良い部分を取り入れていく。悪いところは変えていく

**◎その他協力をお願いしたいこと**

**○給料UP**

- ・給料UP
- ・保育士の待遇の見直し（給与、昇給）

**○人員増加**

- ・パート、臨時職員の採用の増加
- ・パート。勤務時間の見直し
- ・パート職員の増員または、正規職員増加

**○専門職員の増加**

- ・発達障がいの子にはカナリヤの先生のような療育のできる先生を各園に配置してもらう
- ・外国児担当の保育士の配置（月に何回かでもよい）

**⑧施設の老朽化**

**⑨設備の不足、使い勝手が悪い**

**◎保育所の適正な規模**

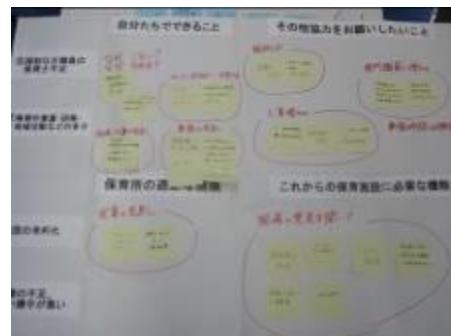
**○定員の見直し**

- ・1クラス20人位が良いが
- ・部屋の大きさにあった人数配置

**◎これからの保育施設に必要な機能**

**○現場の意見を聞いて**

- ・駐車場を増やす
- ・風通しの良い保育室
- ・子どもの人数に見合った園庭の広さ
- ・遊具の増設
- ・トイレを増やす
- ・子ども達が十分に遊べる広さの園庭（人数にあった広さ）



**⑥深刻な正職員の保育士不足**

**⑦事務作業量・研修・地域活動などの多さ**

**◎自分たちでできること**

**○楽しい職場づくり（退職者を減らす）**

- ・楽しい職場にする
- ・私たちが楽しく仕事をする
- ・職場内の人間関係が良いと人が人を呼ぶ
- ・保育士の仕事の楽しさを知ることができるような職場の環境

**○保育士の育成**

- ・保育士の仕事の魅力を具体的に発信していく
- ・中高生のボランティアを受け入れ、保育の仕事を知らせる
- ・やる気にさせる管理職
- ・新人保育士の無理のない育成
- ・夢のある仕事ということを大学（学生）へ行って話していく
- ・保育園で何しているか、周りに知らせていく
- ・実習生に対して保育の楽しさを充分伝えていく（中学生の実習等も）
- ・給料を上げてもらうよう市長に直訴する（保育士全員で）
- ・御褒美の休暇。3連休の誕生日休暇

**○仕事内容の見直し**

- ・休憩時間の確保
- ・地域活動の取捨選択
- ・身になる研修に参加する
- ・事務量を減らす。必要な事務か見直しをする
- ・参加する地域イベントの参加の仕方を変える
- ・事務・研修について見直しをしていく（必要なもののみ残す）
- ・時間内に事務作業ができるよう、園内で時間調整し、計画に入れていく

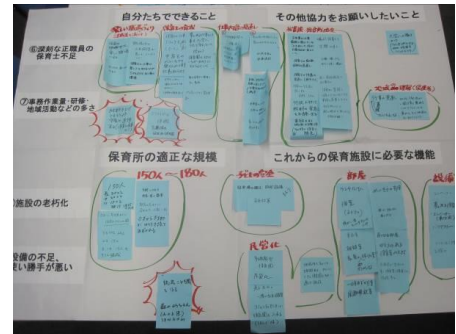
**◎その他協力をお願いしたいこと**

**○秘書課・総合戦略室**

- ・正職員の仕事。負担に感じていることを出して、何が大変なのか考えていく
- ・保育士の勤務態勢の見直し
- ・保育士の待遇の見直し（給与など）
- ・嘱託保育士を正規にする
- ・正職、嘱、パート全ての人員の増加
- ・園に事務職員を配置する
- ・保育士の待遇を良くする。給料、休み
- ・行政に対して給料の見直しをお願いする
- ・事務をする時間の確保（その時の保育士補充）
- ・保育士の業務と保育士でなくてもできる業務の募集を分ける
- ・市役所の人に園の現状を見てもらう。保育体験
- ・大学への働きかけ（プレゼンができる時間をつくってもらう）

**○地域の理解（保護者）**

- ・大胆な行事の見直し
- ・地域活動参加と園行事を兼ねることができるところは兼ねる。そして地域の方に助けてもらう





## ⑧施設の老朽化

## ⑨設備の不足、使い勝手が悪い

### ◎保育所の適正な規模

#### ○150人～180人

- ・150人。長20×2、中20×2、少15×2、2歳15、1歳15、0歳10
- ・年齢に見合った部屋、園の整備
- ・0歳～5歳児までで、100人くらいの園
- ・部屋の大きさに合わせた人数にする
- ・3歳以上20人、2歳15人、0・1歳15人のクラス編成
- ・0歳から5歳までがゆとりを持って預かれる
- ・認定こども園をつくる
- ・森のようちえん（山之上保育園）3歳以上のみ

### ◎これからの保育施設に必要な機能

#### ○子どもの安全

- ・駐車場の確保
- ・防犯設備、カメラ
- ・安全対策

#### ○民営化

- ・多機能型保育園、民営化
- ・老人ホームと一緒にした保育園
- ・コミュニティセンターに保育園を入れる（ほくぶ保）
- ・地域性を生かした特徴あるアピールできる保育園とそれに適した施設

#### ○部屋

- ・ランチルーム
- ・個室（子どもの）。障がい児、クールダウンの部屋
- ・休憩室や更衣室
- ・相談室。職員のオシャレな休憩室
- ・瞑想の部屋
- ・親が交流できる場をつくる
- ・未満児が安心して過ごせる部屋
- ・一時預かり室。園庭開放室
- ・未満児が生活しやすい保育室（環境）に改修する
- ・ゆとりのある保育室の大きさ

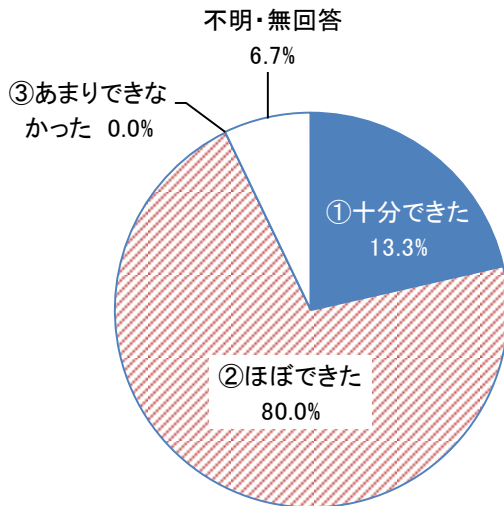
#### ○設備

- ・エレベーター
- ・夢のある保育室
- ・エレベーター（車イス用）
- ・バリアフリー
- ・トイレは1階と2階に

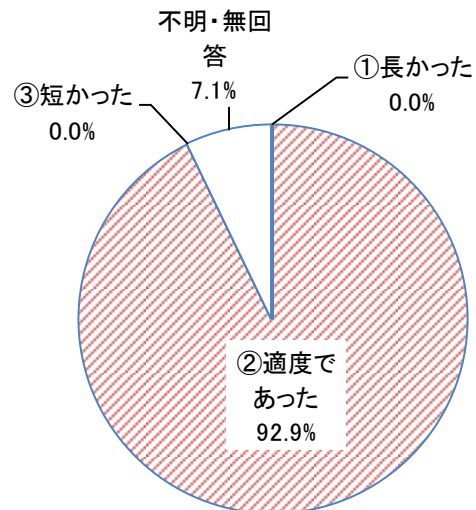
### 3 参加者の意見・感想

振り返りシートの提出数：14名

【ワークショップでは十分に発言できましたか】



【ワークショップの協議時間はいかがでしたか】



【本日のテーマについて、言い足りなかったことや、追加意見】

- ・男性保育士の増加をしてほしいです。なかなか来ないことも知っています。なので、もっとPRをしてほしいです
- ・自分たちでできることを、より具体的に挙げる必要があり、今後、自分たちでできることから取り組んでいきたいと思う
- ・全ては保育士不足からきていることがほとんどだと改めて感じている
- ・施設について、幼保園という形もあるのではないかと思った
- ・子ども一人ひとりの無理のない伸びやかな育ちを見守り、促す保育を行えば、仕事として無理がないのでは（見栄えや自分の思い込みで子どもを引っ張り上げないよう、保育士も）

【その他、ご意見について】

- ・こういった保育士同士話し合ったこと、思いを市役所の人に聞いてもらえる機会があることは、とてもいいことだと思います。是非、一日体験来ていただきたいです
- ・日頃の仕事に対する思いが、ただのグチではなく改善に繋がるように話し合えたことが本当に良かったです。これで終わりではなく、今後もこの思いが続くよう努めていきたいです
- ・改善してほしいところ、自分たちにできることをしっかりと考え、今何をすべきか考えるよい機会になりました。ありがとうございました
- ・参加して、いろいろな人の意見や考えを聞くことができ、自分のためになったと思います。これから保育士として働くことに生きがいを持つ人が増え、美濃加茂市の子どもが育ってくれるような環境になるといいです
- ・市長さんからありがたいお言葉をいただき、うれしかったです。明るい光が見えたような気がします。地方創生モデル園に向けて、話し合いが実現的になるようにと強く思う
- ・他グループの意見からそういう考え方もあるかと気付かされ勉強になった。少しでも改善していく

ことが望ましい

- ・他の保育士と意見交流ができ、保育を見直す良い機会になった
- ・この3回のワークショップで、保育士の仕事、取り巻く環境を振り返り、今後のことを考えていく機会になりました
- ・現場の声を話し合う良い機会になった。市役所全体で話し合えたこと（秘書課や総合戦略室に聞いてもらったこと）が良かった
- ・この会議が無駄にならないよう自分たちもできることは心を改め、お願いしたことが一つでも叶うとうれしい
- ・今回、3回の話し合いの中で、日頃思っていることが言え、他の人の考えが聞けて、いい時間を持つことができました。意見を言っても何も変わらないのではという不安がありましたが、市長さんの話から少しでも改善され、働きやすい職場への希望が持てて良かったです
- ・新たな園をつくること、とてもいいと思います
- ・他の園もまずは直すところを早急に直してください
- ・現状について、振り返ることができて良かった
- ・課題はたくさんあるが、自分たちが今できること（取り組めること）もあるので、取り組んでいけると良いと思う
- ・楽しいこと（仕事の中で）はたくさんあるが、今は大変さ、忙しさが先に立ってしまうので、自分たちで楽しい職場づくりをしていけるようにしたいと感じた